

第 8 期計画 【たたき台】

表紙

# いきいき長寿プラン あまがさき（仮称）

高齢者が尊厳を保ちながら多様な暮らし方ができ、地域社会において支え合い、健康・安全・安心を実感できるまち



本市では、高齢者が尊厳を持っていきいきと暮らし続けられるよう、高齢者の生活支援、認知症対策、医療と介護の連携などの施策を展開し、地域包括ケアシステムの構築に取り組んできました。こうした取組は人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、支え合い・助け合いながら暮らしていくことのできる地域共生社会の実現につながっていきます。  
また、自らが積極的に人や社会とつながり、生きがいや役割をもつことは、介護予防やフレイル予防に寄与することが期待され、言い換えれば、介護予防やフレイル予防を更に推進することは、地域共生社会の実現において不可欠です。  
行政をはじめ、多様な専門機関や地域団体、事業者、さらに市民が共通の目標を認識しつつ、それぞれが主体的に関わり、連携、協働しながらこの理念の実現を目指しましょう。

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画  
（令和3年度から令和5年度）

次ページ

説明事項等

【計画名称】 …9 月市報（予定）にて市民の方に愛称を公募します。

### 【基本理念】

|               |  |
|---------------|--|
| 第 8 期         | 高齢者が尊厳を保ちながら多様な暮らし方ができ、地域社会において支え合い、健康・安全・安心を実感できるまち |
| (参考)<br>第 7 期 | 高齢者が尊厳を持ちながら、安心して多様な暮らし方を選択できる地域社会の構築                |

- （部会意見を反映）  
 （意見）「尊厳を持ちながら・・・」の部分、高齢者自身がいろいろ与えてもらえるというイメージがある。もらうというより、高齢者自身が参画する、舞台があるというような積極的なものにならないか。  
 →「高齢者が尊厳を持ちながら」は枕詞的に用いながら、「高齢者主体」が全面に出るような文言を調整しました。
- （部会意見を反映）  
 （意見）総合計画・地域福祉計画との整合を踏まえ、「支え合い」を入れてはどうか。また、現在「安心」はあるが、「安全」がない。「安全」は客観的なものになると思う。「安全」にはリスクマネジメントの要素も入るのではないかと思う。  
 （ 総合計画の「ありたいまち」  
 ・人が育ち、互いに支えあうまち  
 ・健康、安全・安心を実感できるまち  
 →「支え合い」、「安全」を入れる中で文言を調整しました。
- （部会意見を反映）  
 （意見）理念について、外国人の方がみたとき、わかりづらい。「生きがい」という言葉は外国になく、日本人には伝わるが外国人にとっては捉えにくい。  
 →「生きがい」という言葉は地域共生社会の説明としても用いられており、計画におけるキーワードのひとつであると考えられます。そのため、「生きがい」について、計画を手に取る方にわかってもらえるよう、また、生きがいについて改めて考えてみるようなきっかけをもってもらえる「コラム」のようなコーナーを設けるなどの工夫が考えられます。

【リード文（基本理念の説明）】

|                     |   |
|---------------------|---|
| <p>第8期</p>          | <p>本市では、高齢者が尊厳を持っていきいきと暮らし続けられるよう、高齢者の生活支援、認知症対策、医療と介護の連携などの施策を展開し、地域包括ケアシステムの構築に取り組んできました。こうした取組は人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、支え合い・助け合いながら暮らしていくことのできる地域共生社会の実現につながっていきます。</p> <p>また、自らが積極的に人や社会とつながり、生きがいや役割をもつことは、介護予防やフレイル予防に寄与することが期待され、言い換えれば、介護予防やフレイル予防を更に推進することは、地域共生社会の実現において不可欠です。</p> <p>行政をはじめ、多様な専門機関や地域団体、事業者、さらに市民が共通の目標を認識しつつ、それぞれが主体的に関わり、連携、協働しながらこの理念の実現を目指しましょう。 (356文字)</p>   |
| <p>(参考)<br/>第7期</p> | <p>(一部抜粋)</p> <p>…(略)本市では、高齢者の生活支援をはじめ、介護予防や認知症対策、医療と介護の連携などの様々な施策を展開し、地域包括ケアシステムの構築に取り組んできました。</p> <p>…(略)多様な主体による高齢者の見守りや福祉コミュニティづくり、地域生活を支える体制づくりなどが着実に進む一方、それらの活動を支える新たな担い手づくりや、地域資源の有効活用、さらには高齢者の尊厳確保や看取りといった人生の最終段階における支援のあり方など、多くの課題も残されています。</p> <p>…(略)今後、高齢者支援の充実を図っていくためには、行政をはじめ、多様な専門機関や地域団体、事業者、さらに市民が共通の目標を認識しつつ、行政による総合調整のもとでこれまで以上にそれぞれが主体的に関わり、連携、協働しながら必要な取組を進めていかなければなりません。</p> <p>そのため、「高齢者が尊厳を持ちながら、安心して多様な暮らし方を選択できる地域社会の構築」を本計画における基本理念として計画を推進していきます。<br/>(約400文字)</p> |

- ☑ 基本理念での「健康・安全・安心を実感できるまち」に対し、第1段落では「生活支援・認知症対策・医療と介護連携」といった「安全・安心」に寄与すると考えられる施策について触れ、第2段落で「介護予防・フレイル予防」について触れてはどうかと考えます。
- ☑ 「地域包括ケアシステム」や「地域共生社会」といったキーワードについても盛り込んでどうかと考えます。

### 施策の構築・推進にあたって

施策の構築・推進にあたっては次の視点に留意し取り組みます。  
なお、当視点は「あまがさきし地域福祉計画」における「取組を進めるための視点」に基づいています。

1 市民（当事者）主体の視点

2 情報共有と参画・協働の視点

3 総合化・効率化の視点

4 課題の予防と早期把握の視点

#### 特に留意するポイント

- ・ 本人の自己決定権の尊重
- ・ 生活をともにする、あるいは身近に支える家族等の暮らしの尊重
- ・ 情報の得やすさ、共有のしやすさ
- ・ 地域を活性化するための施策への重点化
- ・ 人と人、人と社会のネットワークづくり
- ・

#### 根元にある2つの考え方（地域共生社会の実現 地域包括ケアシステムの構築）

##### 地域共生社会とは・・・

高齢者介護、障害福祉などの制度・分野の枠や、「支える側」、「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる包括的な社会。

##### 地域包括ケアシステムとは・・・

高齢者が住み慣れた地域でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制」を指し、地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤となり得るもの。

#### 【施策の構築・推進にあたって（旧）取組を進めるための視点】

- ☑ 「取組を進めるための視点」とは「計画に定める施策の構築・推進にあたって留意しなければならない重要な視点」であることから、シンプルに「施策の構築・推進にあたって」に記載内容を変更してはどうかと考えます。
- ☑ あまがさきし地域福祉計画における取組を進めるための視点に基づきつつ、本計画において特に重要と思われるポイントを計画に盛り込んでどうかと考えます。